「社会健康医学」基本計画策定委員会

○ 健康寿命延伸のための研究内容や人材育成の方法等について検討

第1回 5/17 → 第2回 7/5 → 第3回 10/10 → 第4回 11/29 → 第5回 1/24

7

「社会健康医学」基本計画（案）の検討

○ 社会健康医学研究の推進のため４つの基本方針ごとに戦略を検討

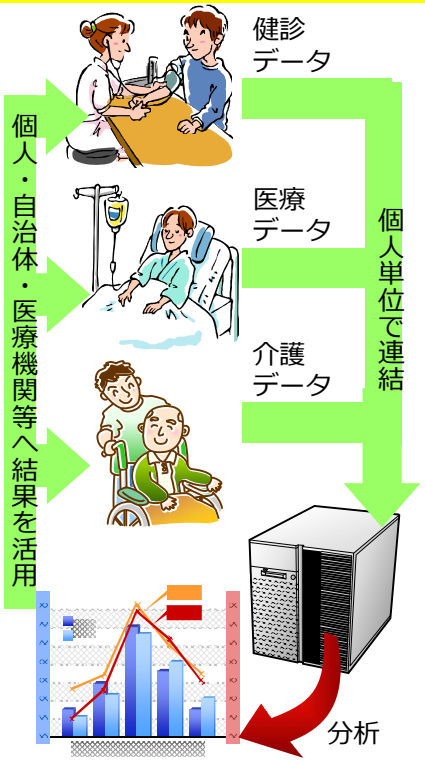
基本方針	戦　略
研究の推進	・医療ビッグデータの活用 ・効果的な健康増進施策・疾病予防対策のための疫学研究 ・ゲノムコホート研究
人材の育成	・地域医療のリーダーとなる「医療専門職」 ・各地域の現場で健康増進施策を担う「健康づくり実務者」 ・長期かつ継続的に研究を行う「研究者」
成果の還元	・社会健康医学の取組により得られた成果の県民への還元 ・取組成果の国内外への発信
拠点となる仕組みの構築	・既存の研究施設等を活用し、早期に取り組むことができる研究に着手 ・長期かつ継続的な研究を推進し、人材を育成するため、将来的に「地域の健康寿命の延伸に特化した学問を習得することを目的」とした大学院大学を設置

8

研究の推進

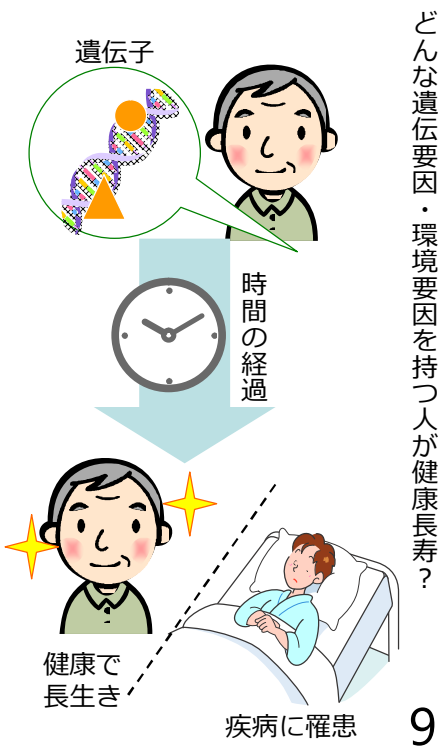
○ 医療ビッグデータの活用、疫学研究、ゲノムコホート研究に着目

医療ビッグデータの活用



疫学研究

ゲノムコホート研究



9

人材の育成

○ 社会健康医学の担い手となる人材を育成

地域に根ざした医療専門職

○ 健康増進に関わる拠点において、地域医療のリーダーとなり、疾病対策や健康づくりを担う「医療専門職」

健康づくり実務者

○ 保健センター等において、健康指導や健康づくり施策を担う「健康づくり実務者」

健康寿命の延伸に取り組む研究者

○ 施策の体系化や医療データの要因分析などを継続的に進める「研究者」

○地域の実情に応じた健康施策の立案・実施
○企業や家庭などにおける健康づくりの推進

県民の健康寿命の更なる延伸